音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会 議 名	令和５年度第３回音更町総合計画推進委員会
開催日時	令和６年１月１８日（木）　午後６時３０分から午後８時まで
開催場所	音更町役場庁舎３階　３０１・３０２会議室
委　　員 出 席 者	吉田委員長、作田委員長職務代理、内形委員、木野村委員、島田委員、菅原委員、杉山委員、高橋委員、中村委員、森田委員
オブザーバ 出 席 者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課長　範国氏
町　　側 出 席 者	深谷企画財政部長、大井企画課長、川村企画調整係長、塩越企画調整係主事、櫻井商工観光課長、清水商工労政係長、吉村観光係長、月居産業連携課長、鎌田環境生活課長、田中温暖化対策係長
傍聴者	なし
議題・諮問 内容	１　開会 ２　委員長あいさつ ３　議件 　第６期総合計画重点施策及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書の検証について ４　その他 　次回以降のスケジュールについて
会議資料	・令和５年度第３回音更町総合計画推進委員会議案 ・資料１　音更町における商業振興支援などについての基本的施策について ・資料２　道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」移転開業について ・資料３　道の駅ガーデンスパ十勝川温泉来場者数の推移について ・資料４　音更町のゼロカーボン推進に向けた取組について ・資料５　次回以降のスケジュールについて
会議結果	３　議件 　第６期総合計画重点施策及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書の検証について 　推進管理調書と資料１から資料４に基づき検証が行われ、次の項目のとおり意見等が出された。 ４　その他 　次回以降のスケジュールについて 　資料５に基づき、次回以降の会議を開催することが決定した。
出された 主な意見等	３　議件 　第６期総合計画重点施策及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書の検証について

	【基本目標１－（３）商業者の経営安定化に向けた支援】 ○　商工会の会員数は、順調に推移しているが、商業活動に従事する従業者がどのように推移しているかを把握することが重要である。 ○　商工会の会員数の実績値が中間目標値を既に達成している状況にあり、中間見直しにおいては、目標値の見直しなども検討しながら、更なる推進を図る必要がある。 【基本目標２－（２）農商工観連携】 ○　なつぞらのふる里について、なつぞら公園の噴水を夏に利用したが、木陰がなく長い時間利用できなかった。将来的には、樹木が成長することで木陰ができ、バスの待合所も利用できるとのことではあるが、公園内に日陰となるような場所や遊具の設置を今後進めることはできないか。 ○　建物内のキッズスペースについて、低年齢児と年長児のスペースは分けられているが、予想を超える来場者数のため、特に低年齢児が遊びにくい状況にあることから、施設内で遊びを分散できるようなスペースの設置や方策の実施を検討できないか。 ○　なつぞらのふる里は産業連携課、ガーデンスパ十勝川温泉は商工観光課が所管しているが、両道の駅の連携を深め、２つあることの利点を生かすため、担当課の一元化を検討していただきたい。 ○　両道の駅の来場者数に差があるため、なつぞらのふる里からガーデンスパ十勝川温泉へ人が流れるような取組を検討する必要がある。 ○　ガーデンスパ十勝川温泉は、道の駅に指定後、年間２０万人の来場者数で堅調に推移しており、なつぞらのふる里が開業後も相乗効果で、来場者が流れてくるなどの恩恵も受けており、こうした流れを更に強化する必要がある。 【基本目標４－（１）循環型社会づくりの推進】 ○　各家庭で必ず使う指定ごみ袋やその包装に、温室効果ガス削減のアイデアやメッセージなどを印刷して PR することで目にする機会が増える一つの方法になると思う。また、外国人の方も理解できるようにするなどの配慮も必要と考える。 ○　町全体の温室効果ガスの排出量は、国が定めた推計方法で計算するとのことだが、この取組をすれば排出量がこれくらい減るというようなことを分かりやすく示すことができれば、各家庭でも協力しやすくなると思う。 ○　これまでは、地球温暖化対策実行計画の「事務事業編」を策定し、役場の事務事業で発生する温室効果ガスを中心に削減に取り組んできたとのことであるが、今後は、作成された「区域施策編」に基づき、町の区域から出る温室効果ガス全体の削減に取り組むとのことであり、一人ひとりの取組が重要となる。 ○　車の暖気運転をやめる、こまめに電気を消すなどのほか、コンビニまで歩いて買物に行くなど、健康づくりにもつながるような地道な取組を広く発信していただきたい。